

[足・リウマチ外来]

成人の足の治療と、変形性関節症やリウマチ患者さんの治療を主に行います。

1. リウマチ

① 薬物療法について

リウマチは自己免疫病の一つです。リウマチでは身体に自分を攻撃する因子が出現し、それが主に関節を攻撃するようになり、最終的に関節の破壊や変形が生じます。リウマチによる関節破壊を抑えるためには、病気の発症早期から薬物療法を確実に行うことが大切です。リウマチの薬物療法において、かつては抗炎症剤(ステロイド剤、非ステロイド剤)が中心で、十分な治療効果が得られませんでした。その後抗リウマチ剤として、リウマトレックスが使用されるようになり、2003年からはレミケード・エンブレルなどを皮切りに、ヒュミラ・アクテムラ・オレンシア・シンポニーなどの生物学的製剤が使用されるようになりました。これによって大きな課題であった関節破壊の進行抑制が可能となってきました。さらにはリウマチの病状が寛解する患者さんも見られるようになり、薬物療法は大きく進歩しております。当院においてもこれら生物学的製剤の投与を行っております。専門医による薬物療法をご希望の患者さんはぜひご相談ください。

② 手術療法について

リウマチの病歴が長く、既に関節破壊が進行し、日常生活に大きな支障をきたしている患者さんの手指、肘、肩、股、膝、足などに対しては人工関節を中心とした手術治療を行います。人工関節手術により疼痛の軽減とともに、関節機能と日常生活の向上が望めます。



手指の人工関節



肘の人工関節



肩の人工関節

例えば、指の人工関節手術においては指の尺側への変位やスワンネック変形などの変形矯正が同時に行えます。肘の変形により顔に手が届かない患者さんの多くは、肘の人工関節手術により、肘の屈曲が改善し、顔に手が届くようになり、洗顔動作が可能になります。



股関節の人工関節



膝の人工関節

2. 足の外科

足の変形(外反母趾、扁平足、足関節症)などの障害に対して装具療法・薬物療法を行います。しかしこれらの保存的治療で効果が得られない場合には、矯正手術(骨切り術)や関節固定術などの手術治療を行います。足の変形、疼痛でお悩みの患者さんをご相談ください。